

「根拠」と「理由」を区別する【理由付ける】三角ロジック

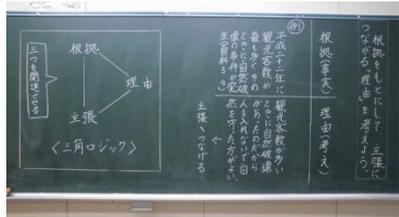
【校種・学年】 小学校第5学年

【教科・領域】 国語科

【実践の概要】

- 1 単元(題材)名 多様な情報を読み、根拠となる資料にもとづいて、考えを深めよう
「世界遺産 白神山地からの提言—意見文を書こう—」
- 2 単元の目標 多様な文章や資料を比べて読み、自分の考えを深め、その考えが伝わるように根拠を明確にして意見文を書く。
- 3 本時の実際
 - (1) 本時の目標 「根拠」を引用して、それをもとにして主張につなぐ「理由」を考えることができる。

(2) 本時の展開

時	主な学習活動	研究の視点
導入	○「根拠」とは引用部分、「理由」とは自身の考えであることなど、本単元では「根拠」と「理由」を区別していることを確認する。(全体) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 「根拠」をもとにして、主張につながる「理由」を考えよう。 </div>	
展開	○「三角ロジック」のワークシートを用いて、自身が選んだ「根拠」から、主張につながる「理由」を考える。(個人思考または立ち歩き交流) ・同じ「根拠」を選んだのに、「理由」が違う？ ・「根拠」は事実だけど、「理由」には自分の考えが入るから、人によって異なることもあるね。 ○「三角ロジック」のワークシートを交流することで、「根拠」と「理由」のつながり方について確認する。(個人思考または立ち歩き交流)	視点2 (1) 「互いの考えを比較する」 視点2 (3) 「思考を表現に置き換える」
終末	○「根拠」をもとにして、「理由」を考えることができたか振り返る。 ・新聞記事やグラフを「根拠」にして、自分で「理由」を考えることができたよ。	視点1 (5) 「振り返って次へつなげる」

4 成果と課題

- 思考ツールを使ったことによって、「根拠」を引用し、それから「理由」を考えて、主張につなげるという流れがイメージされやすくなった。
- 「根拠」からの「理由」が適切であるかどうか、その判断が難しい子どももいた。

